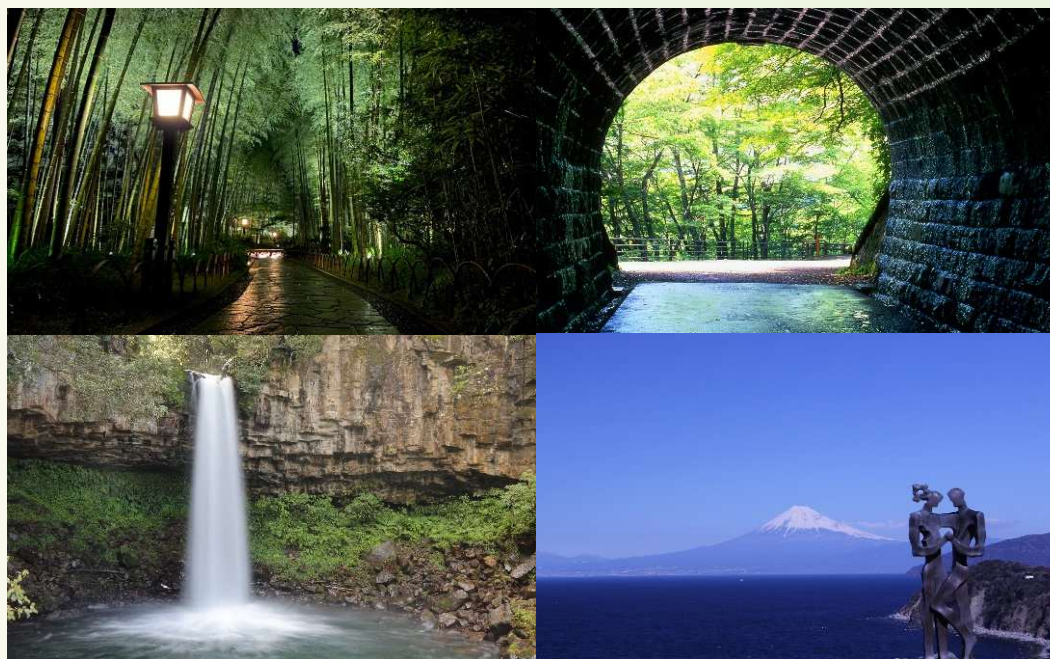


伊豆市の

令和6年度 わかりやすい予算書



総合政策部 企画財政課



20th
Anniversary

1. 予算の基礎知識

- 「予算」って何？・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 予算はどうやって決まるの？・・・・・・・・・・ 4

2. 伊豆市の当初予算について

- 令和6年度の予算はいくら？・・・・・・・・・・ 5

3. 歳入予算について

- どのような歳入があるの？・・・・・・・・・・ 6
- 市税にはどのようなものがあるの？・・・・・・・・ 7
- 伊豆市にはどのくらい借金があるの？・・・・・・・・ 8
- なぜ借金が必要なの？・・・・・・・・・・ 9

目次

4.歳出予算について

■どのような目的に使われるの？・・・・・・・・・・ 10

5.主要事業について

■令和6年度の伊豆市の主要事業は何があるの？・ 12

I. 予算の基礎知識

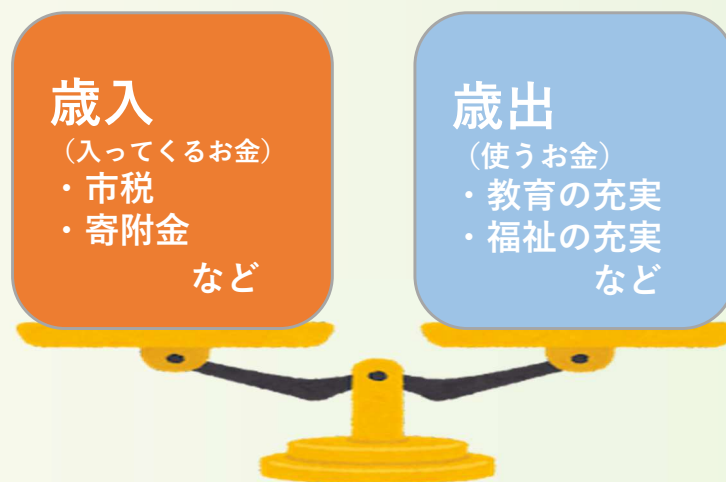
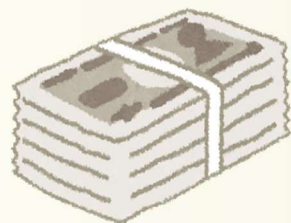
Q 予算って何？

A 市の1年間の収入と支出の見積りのことです。

市では、福祉、教育、ごみ処理、道路の整備など、様々な事業をしていますが、どのような事業に、いくらお金を使うかをあらかじめ決めておく必要があります。

そこで、市が4月1日から翌年3月31日までの1年間に入ってくるお金を見積り、その見積もったお金の範囲内で、使い道を計画したものが、「**予算**」になります。

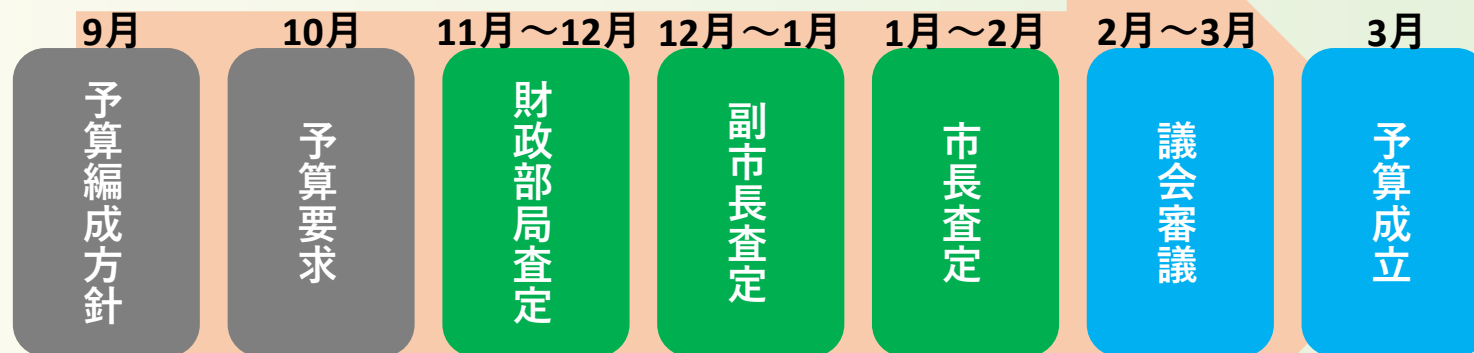
予算書では、伊豆市に入ってくるお金を「歳入」、使うお金のことを「歳出」と呼んでいます。



I. 予算の基礎知識

Q 予算はどうやって決まるの？

- A 各事業の担当課が向こう1年間の行政サービスを検討し、必要な予算を要望します。その後、要望内容の査定を行い予算案を作成します。
予算案は市議会に提出され、内容の審議を経た後に、議決を受けて予算が決まります。



一度決まった予算は変えることができるの？

不測の事態が生じた場合は、「**補正予算**」を組み、議会で議決を受けることで、予算を変更することができます。

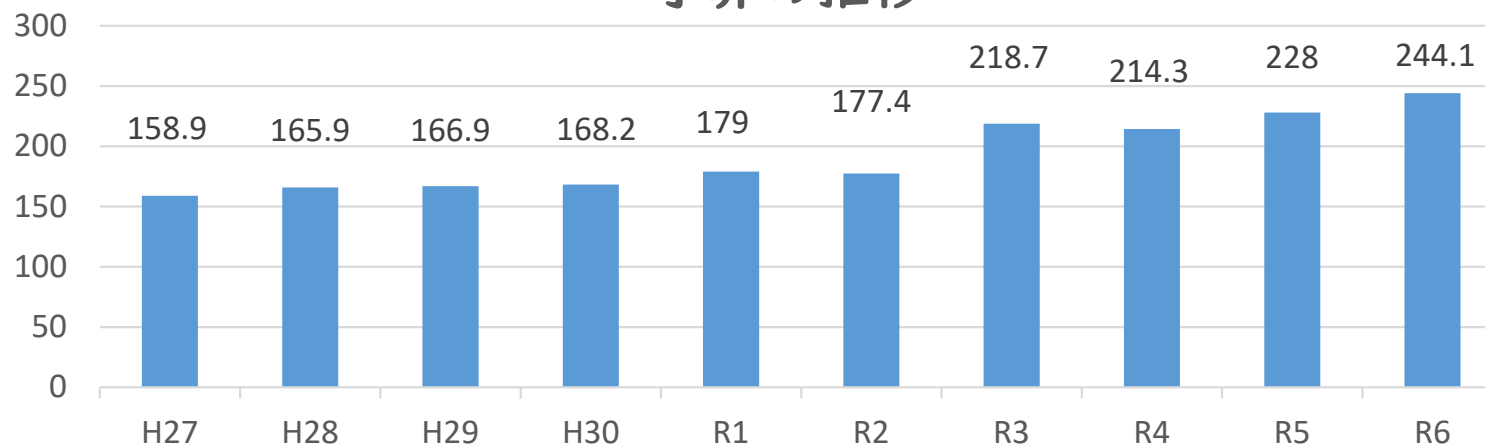


2.伊豆市の当初予算について

Q 令和6年度の予算はいくら？

A 令和6年度の予算額は**244億800万円**で、前年度から16億1,200万円、7.1%の増となり、合併以降最大となりました。

予算の推移



令和6年度も合併以降最大となったみたいだけど、なんでこんなに増えてるの？
これからもまだ増えていくの？



令和6年度は、これまで進めてきた伊豆中学校やリサイクルセンターの整備が最終年となるなど、合併後のまちづくりの総仕上げの年となるため、予算額が大きく増えています。
令和7年度以降は大型事業も落ち着き、予算額は減少していく見込みです。



3.歳入予算について

Q どのような歳入があるの？

A 市民の皆様から納めていただく市税や、国や県からの補助金、市の借金である市債などがあります。

項 目	説 明	令和 6 年度予算額	前年度比 (増減額)
自主財源	市が自主的に調達できる収入のことです。	90億9,200万円	+3億3,700万円
市税	皆さまから納めていただいた税金です。	41億500万円	+1,700万円
寄附金	ふるさと納税などにより、伊豆市に寄附していただいたお金です。	15億1,100万円	+3億100万円
繰入金	各種基金（市の貯金）を取り崩して使うお金です。	22億1,800万円	▲3,600万円
その他	施設の使用料や財産収入、前年度からの繰越金などです。	12億5,800万円	+5,500万円
依存財源	国や県からの補助金や市債（借金）のことです。	153億1,600万円	+12億7,500万円
国・県支出金	特定の事業に使うために、国や県から交付されるお金です。	40億円	▲2億1,300万円
地方交付税	一定の行政サービスを確保するために、国から県や市町村に交付されるお金です。	58億1,700万円	+3億4,900万円
市債	事業を実施するために、国や金融機関から借り入れるお金です。	42億3,500万円	+11億6,100万円
その他交付金等	国や県が集めた税金を各自治体へ分配する譲与税や地方消費税交付金などです。	12億6,400万円	▲2,200万円
合 計		244億800万円	16億1,200万円

ポイント！



新型コロナウイルス感染症の影響改善による個人・法人市民税の増加などによる市税の増や、ふるさと納税の増加による寄附金の増により、自主財源全体が増加しました。また、大型事業の財源とするための市債の増などにより、依存財源についても大きく増加しています。

3.歳入予算について

Q 市税にはどのようなものがあるの？

A 伊豆市には、以下のとおり6種類の市税があります。

名 前	説 明	令和6年度予算額	前年度比 (増減額)
個人市民税	市民の方が給与などの所得に応じて納める税です。	12億3,400万円	5,000万円
法人市民税	伊豆市内の会社などが収益などに応じて納める税です。	1億4,700万円	1,100万円
固定資産税	伊豆市内に土地や建物などを持っている方が納める税です。	22億1,600万円	▲6,300万円
軽自動車税	軽自動車などを持っている方が納める税です。	1億2,000万円	300万円
市たばこ税	たばこを買った方が納める税です。	2億4,500万円	2,400万円
入湯税	温泉を使った入浴施設を利用した方が納める税です。	1億2,200万円	200万円

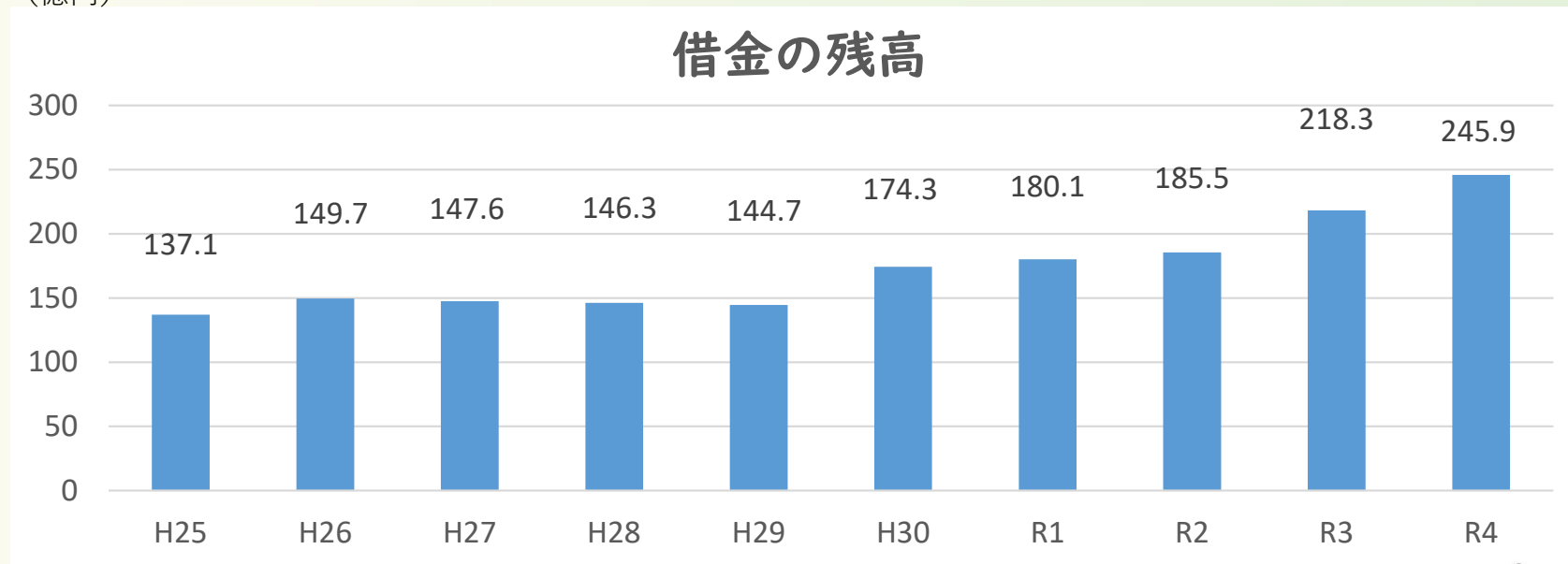


3.歳入予算について

Q 伊豆市にはどれくらい借金があるの？

A 伊豆市の借金は大型事業の影響により平成30年度から増加傾向となっており、令和4年度末の借金の残高は約245億8,800万円となりました。

(億円)



伊豆市はたくさん借金してるけど、
こんなに借金しても大丈夫なの？



借金の種類によっては、返済するお金の一部が地方交付税として国から交付されます。

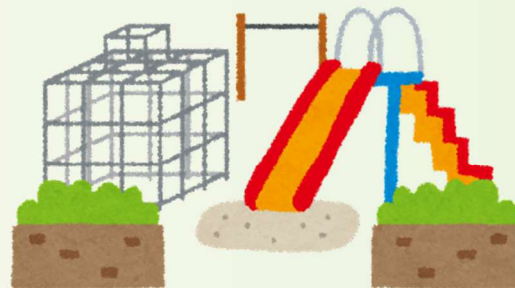
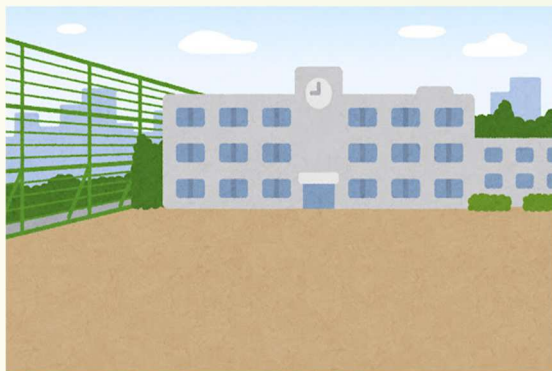
伊豆市では、このような有利な借金を使うようにして将来の負担をなるべく少なくするようにしています。



3.歳入予算について

Q なぜ借金が必要なの？

- A 大型事業にかかるお金をその年の収入だけで賄うと、その年に必要なほかの事業ができなくなってしまうため、借金をして財源を補っています。
- また、道路や公園、建物などは長期間にわたって利用する施設になります。借金をしなかった場合、施設を整備した年に市税等で負担した世代と、その後負担なく利用する世代の間で不公平が生じてしまうことから、将来の世代にも負担を分配し、世代間の負担を公平にする役割もあります。

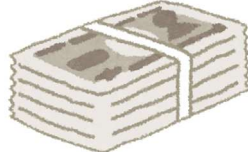


4.歳出予算について

Q どのように使われるの？

A 令和6年度の予算は次のように使われます。

目的別

議会の運営に 0.6%  議会費 1億3,600万円	市役所の運営などに 14.4%  総務費 35億900万円	児童・高齢者福祉などに 21.0%  民生費 51億1,800万円	医療やごみ処理などに 10.3%  衛生費 25億2,700万円
雇用拡大の施策などに 0.1%  労働費 1,500万円	農林業の振興などに 2.2%  農林水産業費 5億3,400万円	産業や観光の振興などに 3.4%  商工費 8億3,000万円	道路や公園などの整備に 9.7%  土木費 23億8,400万円
消防活動や防災などに 5.2%  消防費 12億6,600万円	学校教育などに 20.5%  教育費 50億2,200万円	借金の返済に 8.1%  公債費 19億7,300万円	貯金の積立てなどに 4.5%  10億9,400万円

4.歳出予算について

性質別

項 目	説 明	令和5年度予算額	前年度比 (増減額)
義務的経費	毎年必ず支出しなければならない経費です。	76億6,000万円	+2億9,100万円
人件費	職員の給料や議員の報酬などに使う経費です。	32億円	+1億7,900万円
扶助費	福祉や医療などに使う経費です。	24億8,800万円	+2,100万円
公債費	市の借金を返済するための経費です。	19億7,200万円	+9,100万円
投資的経費	道路、建物等の公共施設の整備や災害復旧に係る経費です。	65億3,300万円	+8億4,500万円
その他経費	物件費や補助費等のその他の経費です。	102億1,500万円	+4億7,600万円
物件費	光熱水費や消耗品費、委託料などの経費です。	39億6,800万円	+1億4,200万円
維持補修費	施設の維持管理に使う経費です。	8,700万円	▲200万円
補助費等	ほかの団体への補助金や負担金などの経費です。	33億3,600万円	+1億9,000万円
積立金	各種基金（市の貯金）への積立てにかかる経費です。	10億6,500万円	+1億3,600万円
繰出金	特別会計の収入を補うための経費です。	17億2,900万円	+1,000万円
予備費	緊急に必要となる場合に備えて用意している経費です。	3,000万円	0万円
合 計		244億800万円	16億1,200万円

ポイント！



中伊豆室内温水プール長寿命化改修事業や、（仮称）日向公園・危機管理センター整備事業が本格的に始まることにより、投資的経費が大きく増加しています。
また、ふるさと納税寄付金の増額に伴う返礼品などの増により、補助費等が増加しています。

5.主要事業について

Q 令和6年度の伊豆市の主要事業は何があるの？

A 市制20周年を迎える令和6年度は、伊豆中学校やリサイクルセンターの整備など、合併の総仕上げのための事業を盛り込むとともに、引き続き第2次伊豆市総合計画後期基本計画を推進するための事業を実施していきます。また、特に「市民（いのち）を守るまちづくり」を重点事業として位置づけ、ハード・ソフト両面での防災事業を進めていきます。

1. 市民（いのち）を守るまちづくり

市民（いのち）を守るまちづくり

事業費 8億9,032万円

2035年±5年には発生するといわれている南海トラフ地震に備え、「死者ゼロ」を目指した取組みを重点的に推進していきます。

防災拠点の整備

- （仮称）日向公園・危機管理センター整備事業 7億3,633万円**
 - ・日向地区に防災機能を兼ね備えた公園を整備（R7年度一部供用開始、R8年度完成予定）
 - ・市の災害対策拠点として（仮称）危機管理センターを日向公園に整備（R7年度完成予定）
- 松原公園津波避難複合施設運営事業 3,307万円**
 - ・令和6年7月にオープン予定の防災機能と観光機能を併せ持った津波避難複合施設「Terrasse Orange toi（テラッセ オレンジトイ）」の管理・運営
- 津波・河川監視カメラ設置事業 1,442万円**
 - ・津波・河川監視カメラを松原公園津波避難複合施設に設置
- 旧八岳小学校解体改修事業 8,910万円**
 - ・旧八岳小学校を解体・改修し、八岳地区のコミュニティセンター及び災害時の避難所として活用

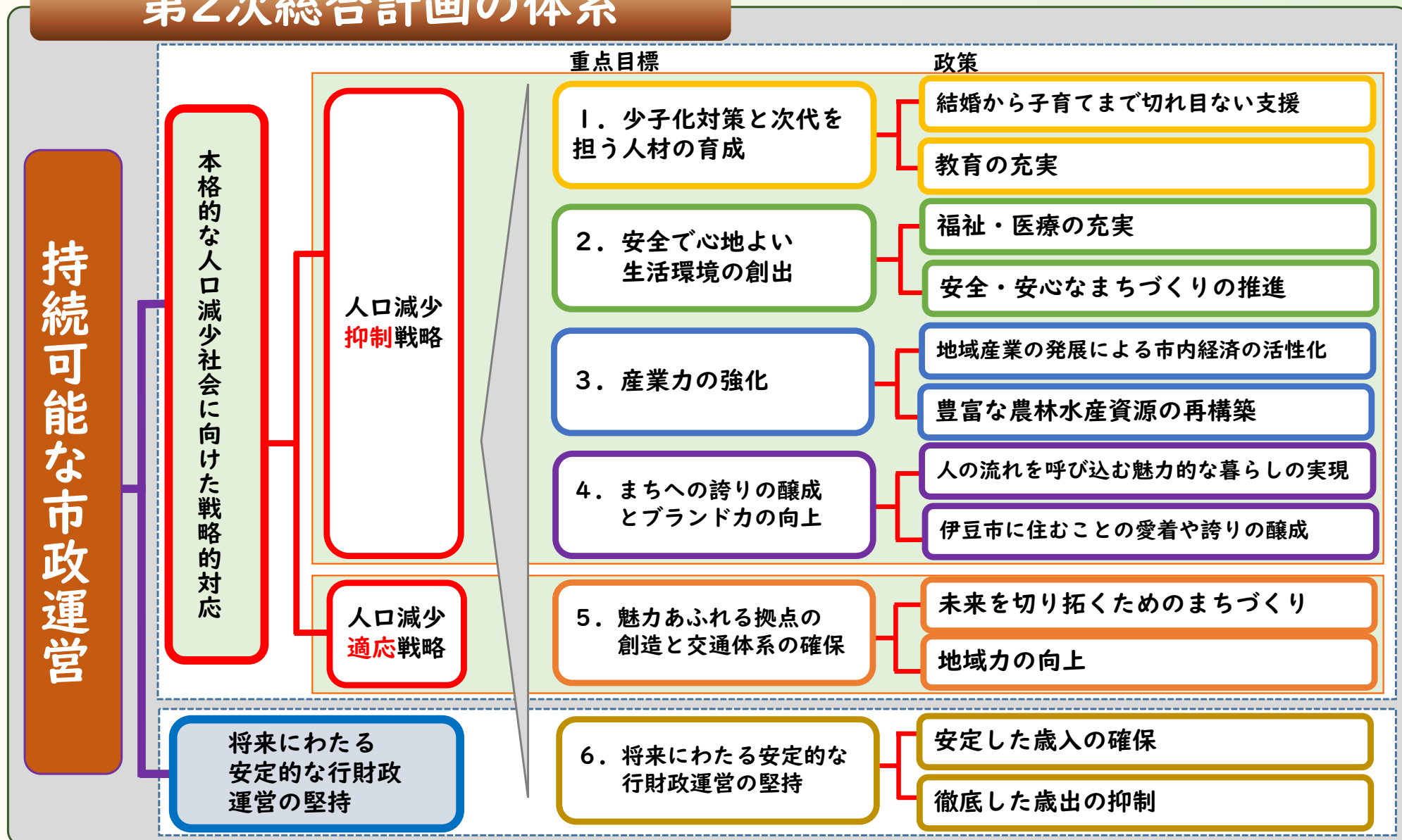
避難対策の推進

- 避難案内板整備事業 385万円**
 - ・松原公園津波避難複合施設への避難誘導案内板を整備
- 防災用資機材整備事業 973万円**
 - ・避難所における資機材や災害時にペットを連れて避難した方のための資機材を整備
- 地区防災計画作成支援事業 100万円**
 - ・地域による共助力向上のための地区防災計画の作成を支援
- 「わたしの避難計画」作成支援事業 52万円**
 - ・自助意識の向上のため「わたしの避難計画（※）」の作成ガイドブックを作成し、市民への普及を促進。
（※）今後起こりうる大規模災害に備えて、一人ひとりが「いつ」「どこ」に避難すべきかを整理し、あらかじめ計画しておくもの
- 要支援者災害時避難事業 179万円**
 - ・要支援者の個別避難計画を策定するとともに、避難所への要支援者用備品の整備を実施
- ふじのくに防災士養成事業補助金 51万円**
 - ・地域の防災リーダーを育成するため、静岡県ふじのくに防災士養成講座の受講にかかる費用を補助

5.主要事業について

2. 総合計画を着実に推進するための施策

第2次総合計画の体系



5.主要事業について

重点目標Ⅰ

少子化対策と次代を担う人材の育成

夜間小児医療確保補助金

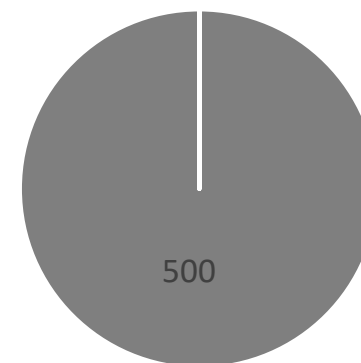
事業費 500万円

安心して子育てができる環境整備のため、夜間診療を実施した市内小児科医療機関に対し、補助金を助成します。



財源内訳

(単位：万円)



- | | | |
|---------|------|---------|
| 国庫支出金 | 県支出金 | 使用料・手数料 |
| 分担金・負担金 | 繰入金 | 地方債 |
| その他 | 一般財源 | |

担当課

健康長寿課

5.主要事業について

重点目標Ⅰ

少子化対策と次代を担う人材の育成

医療相談アプリ導入事業

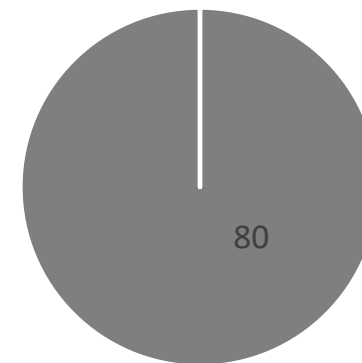
事業費 80万円

妊婦・未就学児のいる世帯が少しでも安心して生活できるよう、健康上の不安について専門医によるアドバイスを受けることができるアプリを導入します。



財源内訳

(単位：万円)



担当課

子育て支援課

5.主要事業について

重点目標Ⅰ

少子化対策と次代を担う人材の育成

伊豆中学校整備事業

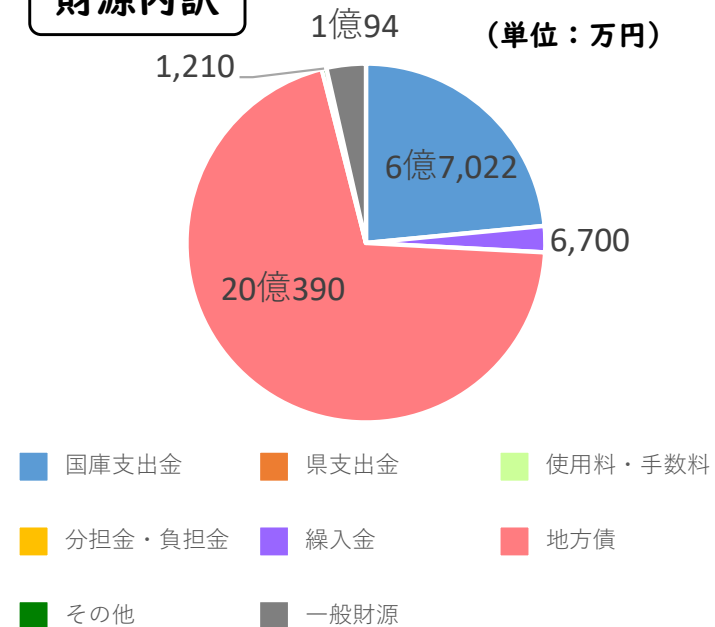
事業費 28億5,416万円

これからの伊豆市を担う子どもたちのより良い教育環境整備を目的として、日向地区に3つの中学校を統合した伊豆市立伊豆中学校を整備します。（令和7年4月開校）



▲令和7年度開校 伊豆中学校のイメージ

財源内訳



担当課

学校教育課

5.主要事業について

重点目標Ⅰ

少子化対策と次代を担う人材の育成

学びの探求向上事業

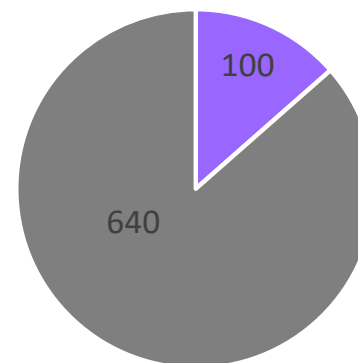
事業費 740万円

自分の興味関心の高い分野で学ぶ喜びを体感してもらうため、プログラミング教室や英語教室など、学校の枠を超えて児童の学習への関心を深める機会を創出します。



財源内訳

(単位：万円)



- | | | |
|-----------|--------|-----------|
| ■ 国庫支出金 | ■ 県支出金 | ■ 使用料・手数料 |
| ■ 分担金・負担金 | ■ 繰入金 | ■ 地方債 |
| ■ その他 | ■ 一般財源 | |

担当課

学校教育課

5.主要事業について

重点目標 2

安全で心地よい生活環境の創出

2025年デフリンピック開催準備事業

事業費 405万円

日本サイクルスポーツセンターでの東京2025デフリンピック自転車競技開催に向けて、機運醸成や周知啓発、大会準備を進めます。

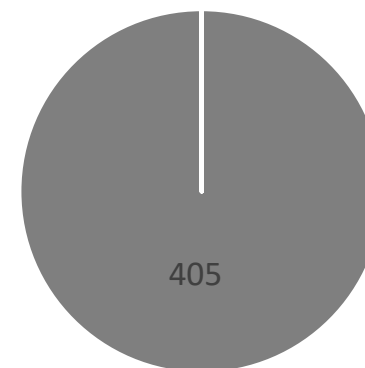
※デフリンピックとは・・・聴覚障がい者のための国際スポーツ大会



▲市職員対象の手話講座の様子

財源内訳

(単位：万円)



担当課

社会福祉課・観光商工課
社会教育課

5.主要事業について

重点目標 2

安全で心地よい生活環境の創出

リサイクルセンター整備事業

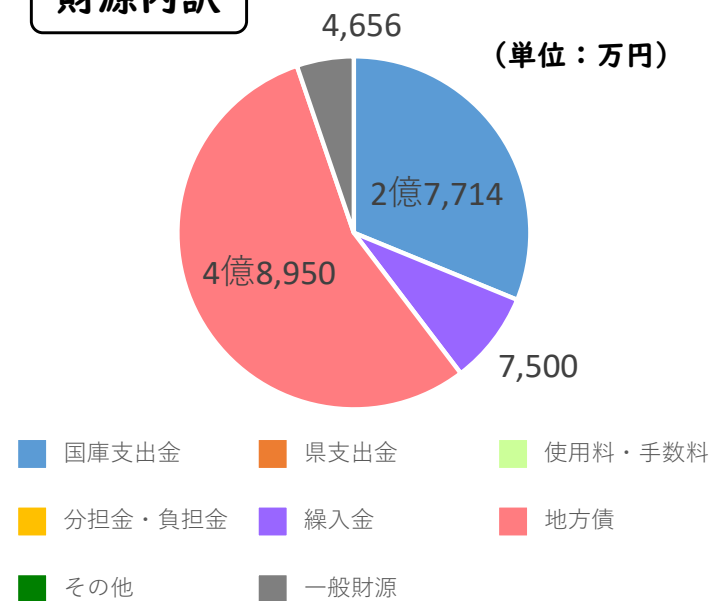
事業費 8億8,820万円

クリーンセンターいず整備に伴い廃止された、清掃センターの焼却施設を解体するとともに、新たなリサイクルセンターを整備します。（令和7年度より運営開始を予定）



▲リサイクルセンター完成イメージ

財源内訳



担当課

環境衛生課
建設課

5.主要事業について

重点目標2

安全で心地よい生活環境の創出

ゼロカーボン推進事業

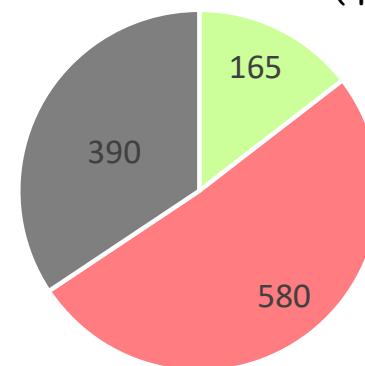
事業費 1,135万円

地球温暖化対策・ゼロカーボン戦略を推進するため、ごみ減量化対策や宅配ボックス購入に対する補助など、各種補助事業を実施します。



財源内訳

(単位：万円)



担当課

環境衛生課
資産経営課

5.主要事業について

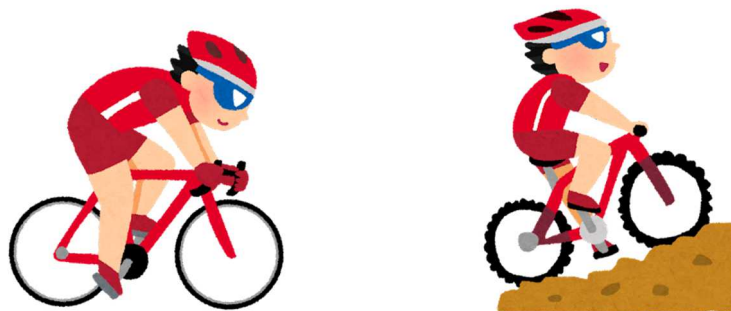
重点目標3

産業力の強化

東京2020レガシー創出事業

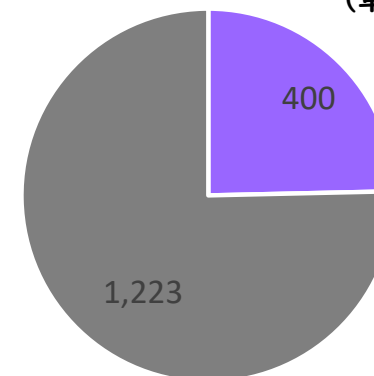
事業費 1,623万円

東京2020大会をきっかけとし、自転車文化を市民の心や生活・文化に根付かせるため、伊豆ベロドローム試乗体験会や自転車購入に対する補助などを通じ、オリパラ会場の聖地化や自転車を活用したまちづくりを進めます。



財源内訳

(単位：万円)



担当課

観光商工課

5.主要事業について

重点目標3

産業力の強化

Izu Wasavisitor Center活用事業

事業費 970万円

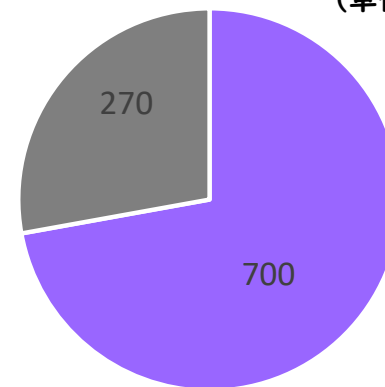
令和5年度に完成予定のわさび拠点『Izu Wasavisitor Center』において、各種イベントを実施するなど、わさびに関する生産、歴史、世界農業遺産などの様々な情報発信を行います。



▲Izu Wasavisitor Centerの完成イメージ

財源内訳

(単位：万円)



担当課

農林水産課

5.主要事業について

重点目標 4

まちへの誇りの醸成とブランド力の強化

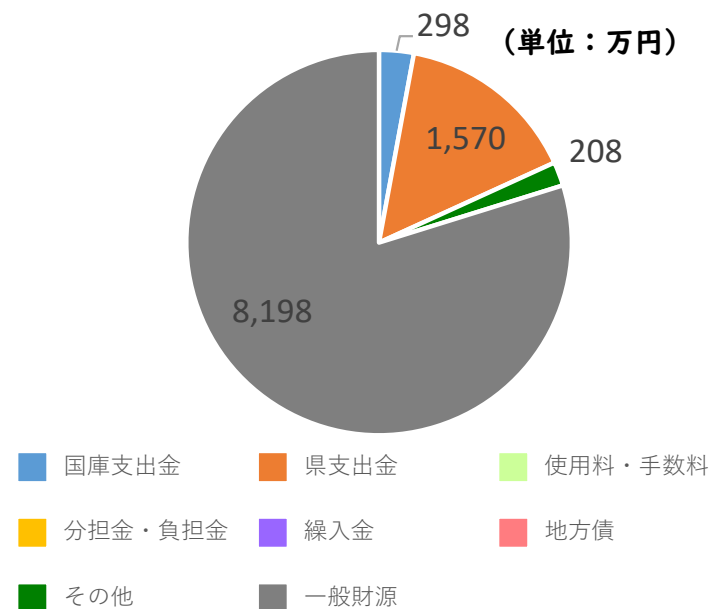
移住定住促進事業

事業費 1億274万円

市内で住宅を購入し定住する世帯に対し交付する移住定住促進補助金などの補助事業や、幼少期の子どもに自然体験の機会を提供する「森のようちえん」事業などを実施することにより、伊豆市への移住や定住を促進します。



財源内訳



担当課

地域づくり課

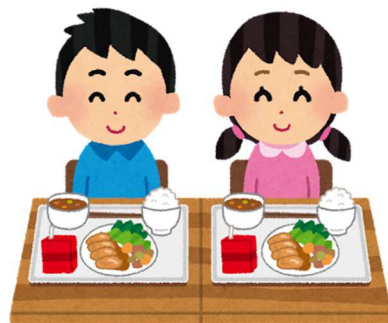
5.主要事業について

重点目標 4

まちへの誇りの醸成とブランド力の強化

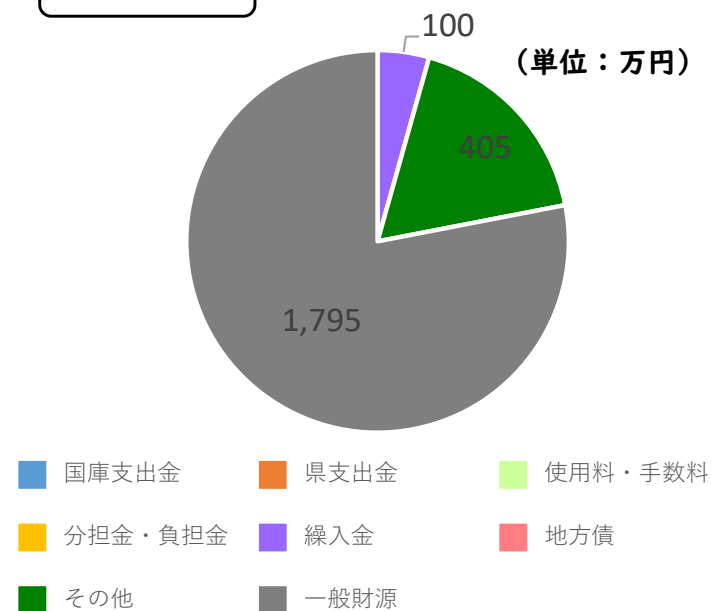
市制20周年記念事業

市制20周年を記念して、「げんきスポーツフェスタ」や「こどもフェスタ」などの記念イベントや、市や近隣市町の地場産品を利用したふるさと給食の提供、ご当地原付ナンバープレートの作成などを実施します。



事業費 2,300万円

財源内訳



担当課

企画財政課 他

5.主要事業について

重点目標 5

魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

狩野川記念公園魅力化事業

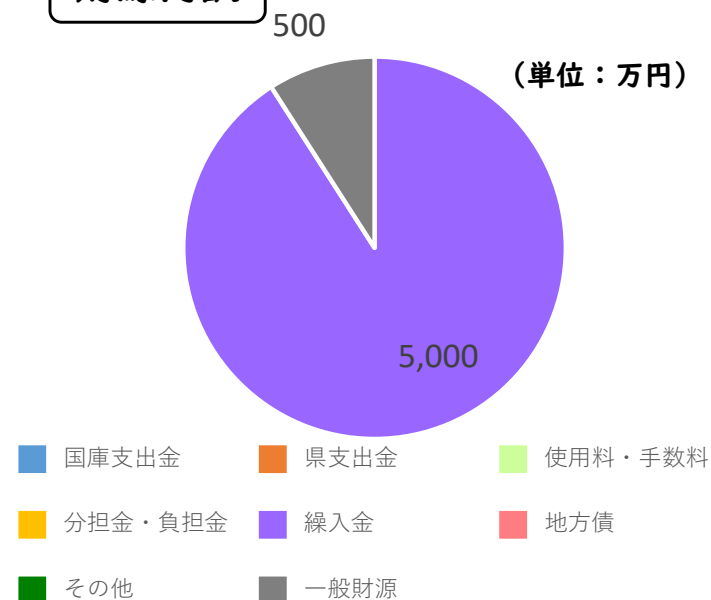
事業費 5,500万円

子育てファミリーが集まる身近な広場として、狩野川記念公園遊具広場の魅力化を図るため、遊具の配置やウッドデッキの整備などを行います。



▲狩野川記念公園遊具広場整備イメージ

財源内訳



担当課

社会教育課

5.主要事業について

重点目標 5

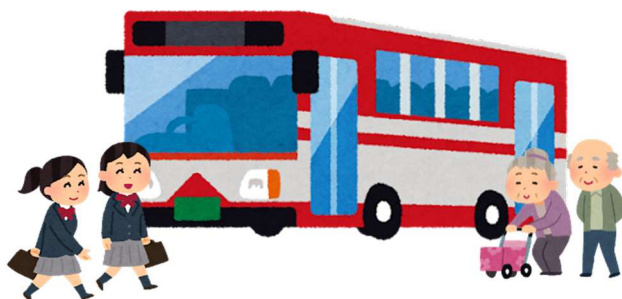
魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

交通利用助成事業

事業費 9,567万円

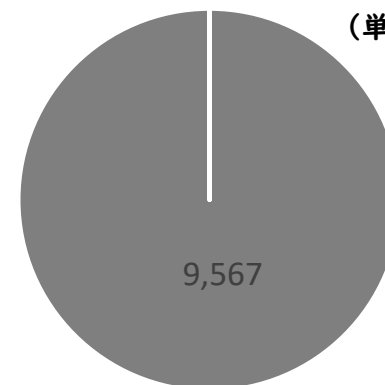
小中高校に通学する児童生徒の保護者の方々の負担軽減と路線バスの利用促進のため、通学費の補助を行います。

また、高齢者や障がい者の方々の生活圏の拡大や福祉の増進を図るため、いきいきパス購入費の補助やタクシー・バス・鉄道の利用券の交付などを行います。



財源内訳

(単位：万円)



担当課

地域づくり課・社会福祉課
健康長寿課・学校教育課

5.主要事業について

重点目標 6

将来にわたる安定的な行財政運営の堅持

シティプロモーション事業

事業費 839万円

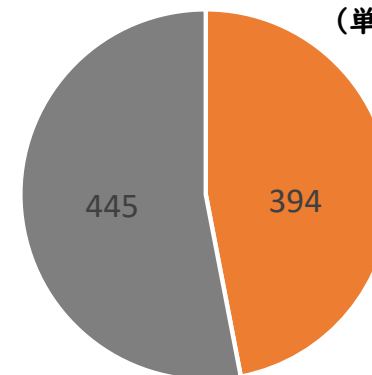
市の魅力や充実した「子育て施策」などを市内外に発信・PRすることで、移住定住の促進や地域への誇りや愛着を作り出すとともに、市のブランド力の向上を図るため、SNSを活用したデジタル広告や、ラッピングバスの運行などを行います。



▲『子育て全力宣言』をPRするフルラッピングバス

財源内訳

(単位：万円)



- 国庫支出金
- 県支出金
- 使用料・手数料
- 分担金・負担金
- 繰入金
- 地方債
- その他
- 一般財源

担当課

企画財政課

5.主要事業について

重点目標 6

将来にわたる安定的な行財政運営の堅持

中伊豆室内温水プール長寿命化改修事業

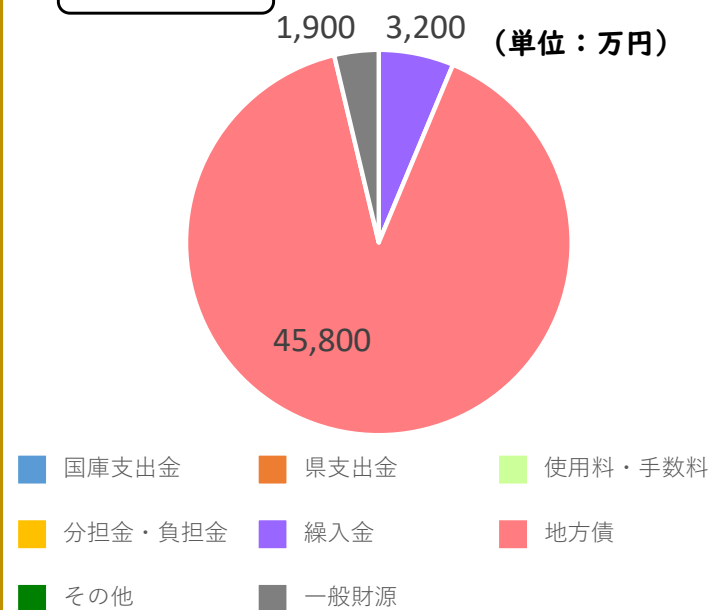
事業費 5億900万円

中伊豆室内温水プールを将来にわたり利用していくため、長寿命化改修・整備計画に基づき、屋根や外壁、設備などの改修を行います。



▲長寿命化工事を行う中伊豆室内温水プール「ふれっぷ」

財源内訳



担当課

社会教育課

令和 6 年度伊豆市のわかりやすい予算書

- 発行年月日 令和 6 年 3 月
- お問い合わせ先 伊豆市総合政策部企画財政課財政スタッフ
静岡県伊豆市小立野 3 8 番地の 2
電 話 (0 5 5 8) 7 2 - 9 8 5 9
F A X (0 5 5 8) 7 4 - 3 0 6 7